

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【公開番号】特開2017-225528(P2017-225528A)
 【公開日】平成29年12月28日(2017.12.28)
 【年通号数】公開・登録公報2017-050
 【出願番号】特願2016-122356(P2016-122356)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月16日(2018.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機であって、

特定期間において楽曲を再生可能な楽曲再生手段と、

一の楽曲を、楽曲の一部であって該楽曲の先頭とは異なる特定部の音声を示す特定部データを含む、複数に分割された音声データとして記憶する記憶手段と、を備え、

前記特定期間において再生される楽曲を複数種類の楽曲のうちから選択可能であり、

前記楽曲再生手段は、

楽曲選択時には前記特定部を再生可能で、

前記特定期間においては前記複数に分割された音声データにより一の楽曲を再生することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

遊技を行う遊技機(例えばパチンコ遊技機 1 など)であって、

特定期間(例えば大当り遊技状態における期間など)において楽曲を再生可能な楽曲再生手段(例えば、図 17 のステップ S 6 3 4 を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など)と、
一の楽曲を、楽曲の一部であって該楽曲の先頭とは異なる特定部の音声を示す特定部データを含む複数に分割された音声データとして記憶する記憶手段(例えば、図 19 (A) に示すように、サビ用データを含む複数の音声データを記憶する ROM 1 2 1 など)を備え、

前記特定期間において再生される楽曲を複数種類の楽曲(例えば、図 18 (C) に示す楽曲 A ~ F など)のうちから選択可能であり、

前記楽曲再生手段は、楽曲選択時には選択中の楽曲の一部であって該楽曲の先頭とは異なる特定部を再生可能で(例えば、演出制御用 CPU 1 2 0 が図 17 のステップ S

6 2 8 を実行することなど)、

前記特定期間においては前記複数に分割された音声データを繋げて一の楽曲を再生する

(例えば、演出制御用CPU120が図17のステップS634を実行することなど)、

このような構成によれば、楽曲選択時の演出効果を向上させることができる。